

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	長井市すみれ学園			
○保護者評価実施期間	令和6年12月4日		～	令和6年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	令和6年12月4日		～	令和6年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数)	13人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士など多職種で連携し、支援している。	それぞれの専門職が対象児童に関わることで、対象児童の成長につながっている。また、外部研修にも積極的に参加するようにしている。	ケース検討会を開催したり、さらに個々の力をのばすための工夫を行いたい。
2	事業所内での活動に加え、外遊びや園外活動など活動を行っている。	特に、長期休暇の際は児童発達支援と同じ時間帯となるため、活動の工夫を行っている。	今後も園外活動の場所などを検討していく。
3	長井市直営の施設である。	長井市の子育て推進課、健康スポーツ課、福祉あんしん課と連携しながら支援を行っている。	利用児童やその保護者のニーズをお聞きしながら事業を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	気軽に相談できる場が少ない。保護者同士で交流する機会が少ない。	特に送迎サービスを利用している場合は保護者とお会いできる機会が少ない。毎月すみれカフェを行っているが、平日に開催しているため参加できない保護者もいる。	すみれカフェ以外にも保護者が集まり、お互いに相談したり、保護者同士で交流できる機会を検討していく。
2	地域交流がうすい。	コロナ禍、事業所の移転もあり、地域との交流が減っている。	避難訓練やすみれ学園の行事に地域の方を招くことなどを検討していく。
3	第三者による外部評価を行っていない。	外部評価を行う体制作りができていない。	来年度以降外部評価を検討していく。

事業所名		長井市すみれ学園			公表日	令和7年2月14日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			基準を満たしているが、利用児童数が多い時間帯は個別のスペースが足りないと感じることもある。利用人数が多い時間帯は外遊びや園外活動をしたり工夫しながら活動を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			基準を満たしているが、保育所等訪問支援や送迎等が重なり一時的に人手が少なくなることがあるが安全面に配慮しながら活動を行っている。個別支援、複数支援を組み合わせながら活動を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			新築なのでバリアフリーであり設備等は整っている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				朝会、PMの振り返り、月1回の職員会議等で話し合う機会はあるが振り返りを行っているが、個別のケース会議がもっと必要である。また目標設定が職員全員に共有できていない部分があり、今後職員全員で共有できるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者向け評価表は年に1回行っており、今回出た意向等を今後の支援に生かしていく。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			自己評価を行い、ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		現在は行っていないため、来年度より実施を検討したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			資質向上のため、様々な研修に職員が参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析するまでには至っていない。これまで以上に適切なアセスメント、分析が必要と考えている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				アセスメントを行っているものの、まだ改善すべき点はあるため今後検討しながら進めていく。

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			活動プログラムについては各担当で話し合いながら決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			活動プログラムが固定しないように、玩具遊び、運動、製作活動、外出等様々なプログラムを取り入れている。	個人の好きな活動がそれぞれ違うため、複数で活動を行う際うまくいかないことがあるため、今後検討していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している			○		特に長期休暇になると、利用時間もなくなるため、細やかな設定まで行うのは困難な状況であるが、個別支援や複数支援を組み合わせながら対応していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				個別活動、集団活動を組み合わせながら目標設定を行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				午後に打ち合わせを行い確認しているが、下校時間が早いと打ち合わせが間に合わないこともあったため、午前中の空いた時間などに必ず確認するようにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				当日振り返る時間がとれないため翌日の朝会会議や支援前の打ち合わせの時にしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			○		記録は行っているが徹底した細かい記録を行うことは難しいことがあり、また、支援の検証・改善につなげられているかどうかは判断が難しい。問題点等があった場合はその都度検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				定期的にモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				会議の検討内容に合わせご家族だけでなく学校の職員や市役所職員等の参加をお願いしている。	
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				行事予定や下校時刻については文書をいただいている。保育所等訪問支援での情報共有や連絡調整を行っている。また、学校の先生と話す機会を多く持つようにし情報共有するようにしている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		主治医からの指示書の元、支援を行っている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		何かわからないこと等があったら電話等でできようとしている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			今のところ該当者なし。今後対象者がいた場合、適切に対処する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		他の事業所と連携を図りながら支援を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			通学している小学校の子ども達とそれぞれ交流している。また、園外活動の際に、ほかの子どもたちと接する機会もある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		園長が参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		お会いできない保護者の方には、連絡ノートやお便り、電話などで利用児童の状況をお伝えしている。お会いした保護者には都度利用児童の状況をお伝えし、共通理解を持てるよう努めている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		市で行っているペアレントプログラムの参加呼びかけや月1回のすみれカフェ等で研修を実施したり相談や情報共有している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時契約の際に必ず説明を行っている	説明は丁寧に行うよう心掛けているが保護者の方に十分に伝わっているかわからない。不明な点は都度聞いてもらい対応していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談等行い必要な支援を行っている。相談等があればその都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		父母の会はないが、すみれカフェを開催しており、保護者通しの交流の場にもなっている。	すみれカフェに参加できていない保護者の方もいるので、悩み等を相談したりする場を提供できるように検討したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情相談窓口について第三者委員の体制について等、契約時に説明を実施している。日頃から家族と話す機会を多く持つようにし、ご要望が聞かれた際にはすぐに対応するよう心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		園だより、機関誌「ほっぺ」を作成し発信している。	

	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			連絡ノートを活用している。母国語が日本語以外の保護者もあり、ひらがなで連絡ノートの記入をする等配慮している。お迎えの時極力今日行ったプログラム、体調等を話すようにしている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			テレワーク室の利用や施設見学の受け入れ等を積極的に受け入れている。	行事への招待については今後検討していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルの策定を行うとともに決められた回数の訓練を実施している。	保護者への周知については今後検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練等決められた回数実施している。	保護者への周知については今後検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			定期的に研修会に参加している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				身体拘束の必要な対象者はいない。やむを得ず身体拘束が必要な場合は、十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				今のところ該当者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット報告書を作成している。	ヒヤリハットについて積極的に報告するようにし、事業所内で共有していく。

事業所名	長井市すみれ学園
------	----------

公表日 令和7年2月14日

利用児童数 10人 令和7年12月26日 回収数 7人

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ		ご意見	ご意見を踏まえた対応
				いいえ	いいえ		
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	6	1	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	6	1	0		具体的な活動プログラムの紹介などを検討します。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	1	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	0	1		悩みや困りごとの相談は積極的に受け入れたいと考えています。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	1		父母の会はありますが、すみれカフェを月に1回開催しており、情報交換をいただいています。参加できない保護者もおりますので今後対応を検討したいと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	1	0		連絡ノートやお便り、電話などで情報交換を行っています。送迎時などで保護者の方とお会いした際は都度利用児童の状況をお伝えするよう努めています。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	0		園だより、機関誌「ほっぺ」で活動の様子や行事予定について等の情報発信を行い、ホームページでは自己評価の結果公表等を行っています。
14	個人情報に十分注意しているか	6	1	0		個人情報の取り扱いについては十分注意し、管理しています。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	1	0		各種マニュアルの策定を行うとともに決められた回数の訓練を実施しております。今後、保護者の方に安心していただけるようマニュアルの紹介等を行っていききたいと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	2	0		今後、訓練を行った場合、園だより等での報告を行っていききたいと思います。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	0	たまに外の子たちと一緒に遊びたいということがある	今後もすみれ学園への通所が楽しみとなるよう、職員一同努めてまいります。また、すみれ学園の利用日数については本人や保護者の意向を確認しながら調整してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	6	1	0	いつも丁寧に見てもらえて安心している。これからもお願いしたい。	保育士に加え、看護師や言語聴覚士、作業療法士、理学療法士などさまざまな職種で支援しています。今後も利用児童の成長につながるよう努めてまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。